

第55回久留米市立草野歴史資料館協議会議事録

○日 時：平成31年3月25日（月） 10時00分～11時10分

○場 所：山辺道文化館

○出席委員：井上委員、上田委員、國武委員、古賀委員、後藤委員、坂井委員、高山委員、塚本委員、吉田委員（全員出席）

1. 開会

2. 委員紹介

3. 会長互選

4. 報告事項

（1）平成29、30年度の取り組みについて

①第36回の結果及び第37回企画展（開催中）の状況報告について

②草野歴史資料館だよりの発行（第38号、第39号）

③各事業・施設との連携について

④その他の取り組み

【委員】外国人のwi-fiの利用はあるのか。

【事務局】外国の方も草野へと訪れていることは確認できているので利用があると考えられるが、どの程度の人数がどの位利用しているかなどはわからない。

【委員】耐震工事を行っていたと思うがその後の経過はどうなっているか。

【事務局】平成27年度に耐震工事を実施し、現在の耐震基準をクリアし、その後なにも問題は発生していない。

【委員】現在の課題はいかに集客することなのか。

【事務局】観光客は平成のはじめごろをピークに減少し、現在では3000人程度で推移をしている。固定客はあるが、昨今の歴史ブームを利用した集客が今後の課題でもあり可能性でもある。

【委員】中学校ではプラスバンドの演奏などのボランティア要請はあり参加していたが、その他のボランティアに対しての参加率は良くない。

その中で、草野歴史資料館が絡んだ子ども向けのボランティアを行うことで、その親などが資料館へと訪れる機会になるのではないかと考え集客のことを質問した。

【委員】食育の一環で地域の活動に関わってもらったときは、学生も楽しそうに行っていた。ボランティアの内容にもよっては参加率も増えるのではないかと思います。しかし児童自体が忙しく、地域活動に参加するのは難しいのが現状のため、子どもが地域活動に参加しその親と併せて草野歴史資料館へ来ることを促すのは難しい。

- 【委員】久留米の歴史を学ぶ際草野へと行き着くシステムや仕組みなどはあるのか。
- 【委員】システム自体は「久留米学」というものがあり、久留米の歴史を自主的に学ぶ時間がある。
- 【委員】小学校や中学校が児童を強制的に行かせるような仕組みを作ってはどうか。
- 【委員】学校からは草野歴史資料館へ行くようにすでに促しているのに、子どもたちは飽きている部分もある。また、強制的に行かせたところで子どもたちの学習は続かないので、夏休みの自由研究の補助学習を草野歴史資料館でやってもらい、宿題の一環としてまずは学んでもらう。その延長上でより草野の歴史を学びたい子どもたちから継続的に学ぶようなクラブなどが形成され、訪れる機会も増えていく。
- 【委員】子どもの入場料について詳しく聞きたい。
- 【事務局】まず、基本的に小中学生の入場料は50円かかるようになっているが、土曜日は無料にしている。また、学習の一環としての入場料は無料など市の規定で定められてはいるが一定の柔軟性は持っている。
- 【委員】草野まちかど博物館などは対外的な発信が多いので、地域内へも発信を強め地域の方が参加し、楽しんでもらうことで草野への興味を持たせるべき。ほとめき歩きで草野歴史資料館に連れて行くと詳しい資料が数多くあり、喜ばれるので、今後も良さをほとめき歩きなどで伝えていく。【意見】
- 【委員】資料館の中でワークショップなどはやらないのか。
- 【事務局】現在やっていない。今後検討する。
- 今年度は、草野まちかど博物館ではミニ企画展、つばきフェアでは月曜日も開館をするなど地域のイベントとの連携を図ってきたので今後も様々な取り組みを検討していきたい。

(2) 平成31年度の取り組みについて

- ①第38回企画展について（内容詳細未定）
 - ②草野歴史資料館だより
 - ③各事業・施設との連携
 - ④情報発信基盤の活用
- 【事務局より説明】

意見、質問なし。

5. その他

- 【委員】久留米観光コンベンション国際交流協会が草野歴史資料館、山辺道文化館、久留米世界のつばき館の管理を行っていることを鑑みると、草野歴史資料館のみの協議会ではなく三館併せた協議会を作り、そこで連携の協議をすべきではないか。また、この協議会の資料としても他の二館の資料も頂きたい。
- 【事務局】草野歴史資料館のことだけを協議する場ではなく、他の山辺道文化館、久留米世界のつばき館との連携を協議する場にしたいと考えている。
- 今後は、三館連携を協議するために他の二館の情報も資料に加える。

6. 閉会